

今年のエアロパーツは デザインより機能を追求する

予言

7

前年のエアロの主流は、高くそびえ立つリアスポイラーだった。今年は何が流行る？
東京オートサロンで見かけた最新エアロを中心に、今年に流行しそうなデザインを占ってみよう。



ZEAL PASSION Z1-01

ブレーキパッドでおなじみのエンドレスが、ジール・ブランドでインテグラ用エアロを発表。とりわけアルファ風のFグリルをもつスポイラーが注目を集めていた。「インテグラの顔つきをなんとかしたいと思っているオーナーは多いはずですよ。このフロントスポイラーはアルファ風でカッコいいでしょ。ライトはノーマルのままだから(位置も変わらない)、車検もこのままでOKなんです(花屋社長)」とのこと。



TB0レース用リア ウイングスポイラー

まるでお城の上にそびえ立つ「しゃちほこ」? 「日本的」な建築を思わせる、異様な存在感が漂っていたTB0のレース用リアウイングスポイラー。同時に装着していたオーバーフェンダーといい、このS14シルビアに装着されていたエアロはいずれも発売される予定という。オーバーフェンダーは2月末の発売予定となっている。これからは、見たことのないような形のエアロが出現してきそうだ。



BOMEX バンパースポイラー

アリゲーターはオートサロンで一季に34種類ものBOMEX新エアロを発表。Fバンパースポイラーは、「ビッグマウスタイプ」という。大型インタークーラーを装着しても効率的な冷却が行われるよう、開口部が広く取られている。従来のフォグランプ付きスポイラーは、ドレスアップ向き。そしてこちらの「ビッグマウス」は機能を追求したものと、住み分けが図られている。写真のS14用は6万5000円だ。



ヴェイルサイド コンバットC5

今回のオートサロンで、一番目立っていたのがこのヴェイルサイドのスーパー。ライトまわりの処理、ガルウイングにより、ベースが何か分からない? ワイドボディのほとんどがカーボンファイバーとなっており、大幅な軽量化がなされている。コンプリートモデルのため単品で市販される予定はないとのこと。このクルマはトレッドを広げられたことで、サーキットでどれくらいタイムが縮まるかのテストを行っていくという。



TRDエアロカウル 可変式リアスポイラー

TRDが近日中に発売するというセリカ用エアロパーツ。リアスポイラーは角度を調整できる可変式。他のメーカーからも可変式リアスポイラーが見受けられた。立て気味にしたり、寝かせたりして遊べそうだ!? R33GT-Rは純正で可変式エアロ。今年「可変」が流行する!



D.スピード ソルトフラットSPL

今回のオートサロンでは180SXの出展が多かったのが特徴。やはりイマ1番の売れセン車種だからだろう。D.スピードも様々なエアロを出展していた。写真はタイプIIというFスポイラーを装着。近々、3万9000円でリップスポイラー(SRバンパー用)も発売する。



ナイトスポーツ グランドエフェクト

ナイトスポーツのドレスアップエアロ。バンパースポイラーは、4灯のランプがビルドインされている個性的なもの。かなりイカついデザインだ。13万8000円。ヘッドライトも4ビーム式。ちなみにこちらは8万5000円。全部ライトを点灯したら、かなり明るい!



トライアル リアスポイラー

フォーミュラマシンのスポイラーを製作していた人物が開発に携わったというリアスポイラー。今まで見られなかった形状だ。「下の2枚目の羽根の形状を見てよ。さすが職人の仕事と思うでしょ。本気でダウンフォースにこだわってみたいんだ(金久氏)」という。

可変式ウイングに2段重ね
機能が高いエアロが主流に

'95 3月
レブ' 46